

令和元年度決算を認定

9月定例会では、令和元年度決算案件（一般会計、特別会計、企業会計）10件が提案されました。一般会計は、予算決算常任委員会（全体会・総務分科会・建設経済厚生分科会）、特別会計と企業会計は建設経済厚生常任委員会において、3日間にわたり慎重審議を行い、原案のとおり認定しました。

一般会計の決算額は、歳入231億7,367万686円、歳出225億8,545万1,391円、翌年度への繰り越し2億4,002万9,000円を差し引いた実質収支額は3億4,819万295円の黒字となっています。

予算決算常任委員会 (総務分科会・建設経済厚生分科会)

一般会計の令和元年度決算認定は、予算決算常任委員会に付託した後、総務、建設経済厚生各分科会で所管する事項を分担し審議を行いました。
主な審議内容は以下のとおりです（○印は要望、意見）。

一般会計

観光

問 観光事業のPRと今後について。



答 紫電改の実物大模型の公開以降、観光ナビのアクセス数は大幅にふえています。鶉野飛行場跡周辺を含めてホームページや観光ナビへ掲載したことが効果の一つと考えます。フェイスブック等によるPRに加え、今後は若者に人気のInstagramを積極的に活用したいと考えています。今後の観光事業は、ホテル連携事業等を活用して各観光スポットを関連づけ、周遊につなげたいと考えます。

○特産品、土産物の開発にも取り組んでいただきたい。

情報発信

問 市の情報発信の考え方と今後の方向性について。

答 主にホームページと新総合アプリ「イーナカサイ」の2つにより情報発信をしています。その他、市のSNS等も使っています。今後は、メディアに応じて情報の整理等をしていきたいと考えています。

○情報発信ツールのすみ分け等を整理し、ベストな状態で情報発信をしていただきたい。

防災

問 防災備蓄品の購入について。



答 令和元年度より、5年計画で備蓄品を蓄えているところで。特に主食は、山崎断層地震が発生した場合は市民1万2,000人の避難者が想定されるため、少なくとも全避難者2日分は供給できる体制をつくりたいと考えています。

○生活必需品も含めて計画的に備蓄し、種類や数量等を事務報告書に記載していただきたい。

○地域の実情に合わせた防災訓練を今後検討していただきたい。

○防災メールがより使いやすくなるよう検討をお願いしたい。

防犯

○交通量が多い通学路などは、できるだけ防犯カメラを設置していただきたい。

障がい支援

問 障害児通所給付について、児童発達支援や放課後等デイサービスなどの利用者数は当初の計画値を超えているが、今後のニーズについて。

答 他市からの利用も多く、満員の状態が続いており、施設が不足していると認識しています。現在第2期障害児福祉計画を策定中であり、計画値を精査し、来年度以降に反映させたいと考えています。

○療育事業に係る通所施設については、定員を超えている状況から充実させていくよう検討していただきたい。

健康づくり

問 運動ポイント事業の成果について、健康状態の改善との関係は。



答 「結果にコミット」ポイントの総獲得数は11万ポイントと高く、改善した方が多いと考えます。参加者アンケートでも、健康意識が高まる、運動しようという気になる等の意見が多くありました。気軽に歩いて健康になれる事業として浸透してきたと考えています。

移住・定住

問 若者定住促進住宅補助金について。



答 平成30年度以降、子育て環境を考慮した親世帯との同居・近居に力を入れ、申請はふえています。

○移住定住の支援について、コロナ禍で一極集中が大きく変わり、加西市の価値が上がると考えるが、若者に限らず年齢の方にも重きを置いた取り組みの検討が必要と考える。